

日本の学校とウォータンブル市の学校

今回私はこの派遣を通して日本とウォータンブルの学校を比較し、相違点を調べました。このテーマを設定した理由は将来教育関係の仕事に就きたいと考えており、さまざまな教育方法や学校について知りたいと思ったからです。

<比較方法>

私が現在通っている神奈川県内の公立高校とオーストラリア、ウォータンブル市のブラウアーカレッジの2つの学校についての相違点を見つけそれを比較する。比較する項目としては①登校時間、登下校の方法、②授業形態、③学校での食事について、④その他感心したことについて調査する。

<学校の相違点>

①登校時間と登下校の方法について



登校時間

8:35 ~ SHR

9:00 ~ HR

⇒ 日本のほうが学校に行く時間が早い。

登下校の方法

・徒歩 ・自転車
・電車バス等の公共交通機関

・徒歩 ・スクールバス
・車

⇒ オーストラリアのほうが通学にかかる平均時間が短い。

私はホストステイデントの運転で登校してたので5分で着いた。

② 授業形態について

授業形態については大きな差が見られました。



日本

全ての机・イスが黒板のほうを向いている「スクール形式」

班体形にはな、て話し合うことが多い


オーストラリア

教室ごとにレイアウトがちがう。

「コの字形式」など生徒同士の顔が常に見れるものが多い。



— 他にも...

日本では  を使用して授業を受けることが「ほとんど」であるが、オーストラリアでは  や  を使用している。

教室にコンセントもあり、充電しながら課題もできる。

「Kahoot!」というアプリを使って授業が行われていた。私たちの学校でも「ロイロノート」を使っているの、日本でも電子機器を使うことは一般的にな、てきていると考えた。

③ 学校での食事について

学校での食事は日本とオーストラリアでは考え方が違うなと思いました。



日本

小中学校では給食。高校ではお弁当。
食堂があり、メニューも充実している。
これは食堂のタニタニメン（人気メニュー）
昼ごはんはガッツリ食べる!!!

オーストラリア

"スタックタイム"がある。みんなは軽く
お菓子を食ったり、フルーツを食べる。

"ランチタイム"には軽い食事をする。

ex) ピザ、サンドイッチ、ソーセージロール
など、日本ほど量を食わない。

家からもってきたり、購買で買う。

また、オーストラリアには電子レンジとスター
があり温かい食事が食べれる。



⇒ スタックタイムがあることで空腹にならず授業に集中できる。

⇒ オーストラリアのランチは軽食、ほい。

④ その他感じたこと

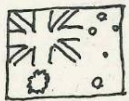


オーストラリアでは「バスケットボール」
を休み時間にする人が多い。
日本はサッカーが「ト長」??

教室の使い方がちがう!



→ 「クラスごと」に決まった教室がある。



→ 「教科ごと」に決まった教室がある。
生徒が移動する。

